

「子どもの発見」 に思う



文部科学省
スポーツ青少年局長

樋口 修資 氏

教育随想

学生時代に愛読したルソーの「エミール」にこんな一節があったのを覚えている。「人は子どもというものを知らない。子どもについて間違った観念をもっているので、議論を進めれば進めるほど迷路に入り込む。この上なく賢明な人々でさえ、大人が知らなければならぬことに熱中して、子どもに何が学べるかを考えない。彼らは子どものうちに大人をもとめ、大人になる前に子どもがどういうものであるかを考えない」

ここには子ども期の固有なものの見方・考え方・感じ方など子どもの認識発達の本質を踏まえた教育方法論への鋭い洞察を感じ取ることができ

子ども期を単に欠如態とみなし、成年期を固定した標準として子ども期を押し量るような愚を犯すことなく、子ども期特有の発達の筋道を辿って、子どもたちの現在の可能性を次々と

実現し、未来に向かって絶え間なく進んでいく過程として「教育」を捉えることが大切であると思う。

「子どもを物知りにするのができればそれで十分と考えるのは愚かなことだ。子どもに学問を教えることが問題なのではなく、学問を愛する興味を与え、この趣味がもっと発達したときに学問を学ぶための方法を教えることが問題なのだ。これこそ確かにあらゆる良い教育の根本原則だ。」との「エミール」におけるルソーの認識は、教育における好奇心や「学び方を学ぶ」ことの重要性を明らかにしており、「知識」そのものよりも、生きて働く「知恵」を大切にし、また、「教える」ことよりも、子どもの「育つ」力を確信し、「物知り」を育てるのではなく、学び手の「深く知ろうとする意欲」を援助し、導いていくことこそが教育の核心であることを示唆している。



そうであるからこそ、いずれの時代にあっても、教師は、子ども教育の発達への深い洞察力を磨き、実践的な授業研究や教材研究を進めつつ、子どもたちの自己教育力をはぐくむ革新的な「授業創造」に邁進することが求められており、今日教育改革が叫ばれる中で、こうした教職のプロフェッショナルリズムの復権、探求こそ改革の要諦といえよう。

(ひぐち のぶもと)



平成20年3月1日

3月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	■
文部科学省 スポーツ青少年局長	
樋口 修資氏	
この人に聞く	■
指揮者	
村松 貞治氏	
羅針盤	■
理科指導員	
宇都宮森和	
ふれあい	■
山中小	
富田 好己	
1年のあゆみ	■
平成19年度研究発表校・出版物	■
平成19年度教育研究論文入賞者	■
お知らせ	■
フォト・ヒストリー	■
校舎建設(昭和62年)	
この本を	■

ふるさとシリーズ

この人に関する



目指すは、
世界の「ムラマツ」

指揮者
村松 貞治 氏

昨年十月七日、ハンガリーで開催された「エメリッヒ・カールマン国際指揮者コンクール」で見事、審査員特別賞を獲得された村松さん。幼いころより音楽に親しんでこられたのではと思いきや、「小学校四年生のとき、愛宕小でトランペットクラブに入ったのがすべての始まりです」という答えが返ってきた。

「中学、高校と吹奏楽部に所属し、ホルンを担当しました。高校は公立の普通科です。音楽を学びたくて、卒業したらすぐに一人で渡英しました。自分で雑誌を見て調べ、だれにも頼

らず決断しました。」

その行動力に驚かされるが、周りの人の反対はなかったのか何うと、「父には、『家業の洋服屋を継がなくてよい。一度は海外へ行かせたい』と思っていた。ただ、高卒ではちょっと早すぎないか』と言われました。留学して英語を身に付ければ、音楽以外でも将来役に立つと思っていたみたいです。高校の先生は反対しましたけれど、迷いはありませんでした。怖いもの知らずだったんでしょね」と笑いながら話された。

最初は語学学校で学び、その後、音楽大学器楽科、指揮科のある大学院へと進む。大学院では、いかに演奏者の人たちと作品を創り上げていくかというリハーサル法を学んだ。

「外国の同僚に、『日本人は指揮の高い技術を持っているが、何をどうしたいのかというプレゼンテーションができない』と言われました。」

自分の考えをきちんと述べることの大切さを感じさせる言葉である。

「指揮者にとつて必要なことは、インプットとアウトプットのパランスです。今ある音について、僕はきちんと吸収するべきだし、その上でこうしてほしいという要求を出す、それを演奏者が受け取るという循環がすごく重要だと思っんです。いかに自分の音楽を確立させるかというのもいいけれど、もつと演奏する側



の思いに耳を傾けるといのが重要なことだと思います。」

「学校の先生と指揮者は、とても似た職業だと思っ」と話されたが、まさしく、私たち教師の授業をする心構えに通じるものがある。

指揮者は曲にかかわるすべてを理解しておかなければならない。そして、諸外国のオーケストラと演奏するためには、語学力も必要となる。並々ならぬ努力がそこには存在する。

「今回のコンクールは、オペラという新しい分野への挑戦でした。コンクールが受けられる年齢の間は次々に受けようと思っています。結果を出すためには、もつと勉強や経験が必要です。高い望みですが、目指すは、国際指揮者コンクールでの優勝です。」

お話を伺っについて、世界へ大きくはばたこうとする、あふれんばかりの情熱を感じた。

氏 名 むらまつ さだはる
生年月日 昭和五十四年三月 十四日
住 所 岡崎市愛宕下二十一



わくわく感に満ちた

理科の授業を

理科指導員 宇都宮森和

小学校三年「太陽の光のはたらき」では、鏡で反射させた光を二つ、三つと重ねると、一枚のときより温められることを学習する。ここで子供たちの一部は、大きな鏡を使ってもよく温まるのではないかと考える。そこにA先生は着目し、発展的な授業を構想した。

「あっ、すごい。先生の秘密兵器」

A先生が、三色のセロハンで作ったシートを取り出すと、子供たちの目が輝きを増した。先生が演示する実験をわくわくして待つ気持ちだが、子供たちの表情からあふれている。

「これで光的に当てます。」

そのカラーシートを特大の鏡に重ね、窓際から太陽の光を反射させて子供たちが見守るのに当てた。色は一点に集まることはなかった。色的には温度センサーが設置されている。

「温度があまり上がらないよ。」



笑顔に変わる瞬間

山中小 富田 好己

「おおっ。すげえ。」

歓声が沸き起こり、学級のみんながA男を称賛した。五年算数「変わり方のさまり」の授業のときのことである。

一枚の長方形の紙を提示し、「この長方形の紙を一回折ってまた広げると、折り目で長方形がいくつに分けられるかな」と問うと、「二つです」という自信たっぷりのたくさんの声。実際に紙を一回折ってまた広げると、折り目で二つの長方形ができている。どの子も当然の結果に満足そうである。では、二回折ると長方形はいくつできるかな」という質問に、「四つです」と、今度は自信と不安が入り混じった声。三つかなと

思っている子も若干いると思いい、実際に二回折ってまた広げると、四つの長方形ができていた。思ったとおりの答えに笑顔が広がる。

「じゃあ、三回折ってからまた広げると長方形はいくつできるかな。」

子供たちは、笑顔から再び真剣に考える表情に変化した。一回折ると長方形が二個。二回折ると長方形が四個。三回折ったらどうなるか。多くの子が二倍にしていけばよいと考え、「六つです」という声が返ってきた。

その中で、ただ一人A男は、「八つです」と答えた。学級のみんなから、「ええっ」という声が上がると、「三×二で六個だよ」という意見が出る。それに対してA男は、「四個の長方形が半分ずつになるから八個」と切り返す。でも、不安な表情は隠せない。そこで、実際に試演してみると、広げた紙から現れたのは八個の長方形。驚きの歓声と同時に、A男の不安げな表情は、笑顔へと一変した。

A男を称賛するとともに、どうして八個なのか、どんなさまりがあるのかと、子供たちの追究意欲は一気に高まった。そして、紙を実際に折ったり、結果を表にしたりしながら、変わり方のさまりを見つけていった。



「先生、見つけたよ。」

机間指導中に聞こえてくる自信に満ちあふれた声。にやつと笑みを浮かべながら誇らしげに顔を上げてこちらを向く。逆に、表情がずっと曇ったままで困り果てている子には、「この数がどう変わっているかな」とポイントを絞ってアドバイス。やがて、うつむいたまま問題とにらめっこしていた子の表情が、しかめっ面から笑顔に変わる。分からなかったことが分かった瞬間。できなかつたことのできた瞬間。暗闇から一筋の光を見出した子供たちは、最高の笑顔を見せる。

授業は生き物である。子供たちが「えっ」と思う瞬間をねらった教材を提示したり、「なぜ」と追究したくなる課題を仕組んだりすることによって、子供たちの思考は様々に変化する。

一時間の授業の中で、一人でも多くの子が笑顔に変わる瞬間を作りたい。

「光が漏ららないからだ。」

納得の音が教室のあちらこちらから漏れた。子供たちは、大きな鏡で光を当てても、目的の温度変化は小さい鏡のときと変わらないことを、視覚を通して理解していった。

さらにA先生は、鏡三枚分の光を一箇所に重ねれば温度が上がるのに、特大の鏡一枚の光ではあまり温度が上がらない理由をも知らせたいと考えた。そこで、鏡に反射した光が進む様子を示すシミュレーションを自作し、大型電子黒板に写した。これによって、特大の鏡の光が的に当たる様子と三枚の鏡から反射された光が的に集まる様子とを比較できる。

「鏡が大きいと、端の光は的に当たらないんだ。」

三年生にとっては高度な思考が伴うと思われる内容でも、工夫した教具と適切な指導によって十分に理解させられることが示された瞬間だった。

子供は本来、自然現象に強い関心を示し、理科の授業を心待ちにするものである。そんな理科好きな子供に力を伸ばすためには、わくわく感に満ちた授業を仕組む必要がある。そこには、教師の教材研究と教具の工夫が不可欠だ。A先生の、子供に科学のおもしろさを伝えるための研究姿勢に、理科の授業の原点を見る思いがした。

一年の
あゆみ



新築された岩津中学校校舎
内運動場

「いのちの教育」アクションプランに基づく授業の実践（城北中）



4.7.1	評定伝達式 新規採用教員63名
4.5.1	屋内運動場完工式 岩津中
4.4.6	屋内運動場（改修工事）完工式 海陽小
4.4.7	第14回消防団（消防団）コンテスト 打楽器六重奏 優秀賞 美月中
4.4.15	第14回愛知ウォーカランサンポコンテスト 中学校男子の部 優勝 美月中 中学校女子の部 優勝 美月中 現職教職員同好会（岩津中）
4.4.16	第7回全国小学生手毬選手権大会 世界選手権選手権大会
4.4.22	第5回こども読書推進賞 奨励賞 磐石小
4.4.23	第19回愛知中学校体育大会 優勝 船山中
4.4.24	第6回山中選手権大会 団体 優勝 矢作北中
5.4.5	第10回日本キヤ amp; アーティスト大会 30歳部門男子 二位 東海中3・伊藤博志 18歳部門男子 一位 東海中2・大塚隆幸 二位 東海中2・小久保拓也
5.5.13	第5回愛知青少年表彰式 野生物保護功労表彰 東山中・教諭 杉野真由 文芸科学大賞 奨励賞 東山中 環境大賞 宮崎中
5.5.19	愛知県植樹・緑の贈呈 奨励賞 南中1・海野由佳
5.5.19	ホルトルライアスロン2007 13・14歳女子の部 優勝 美中2・大塚嘉
5.5.26	第1回岡崎市（いのちの教育）アクションプラン推進協議会 FBC春の学校花壇設計賞 愛知知事賞 上池小 FBC春の学校花壇設計賞 愛知知事賞 磐石小 開校六十周年記念式典 岩津中
6.6.8	秋の東山緑樹園FBC春の花壇設計コンクール 名古屋市賞 磐石小・中橋志奈
6.6.10	愛知小学校生リレー大会 4年女子部の部 優勝 岩津小4・武山さくら
6.6.16	第21回愛知小学校生相撲選手権大会 小学校四年生の部 優勝 津田小3・中村香穂 磐石小4・加古卓忠
6.6.24	第20回全国植樹祭 平成18年度全国学校園緑化コンクール 学校園緑化の部 特賞 岩津小 学校園緑化の部 特賞 小倉取小 第3回（育て）プロジェクトコンテスト（コンクール） 審査員特別賞 海陽小・教諭 橋本大司 第20回愛知中学生相撲大会 優勝 南中3・鈴木敦裕
7.7.1	ニューポトビータ市世帯団連会（18） 第44回全国中学生海のコンクール 奨励賞 南中3・渋谷健
7.7.3	サンアリーナカップ第20回全国バレーボール小学生大会愛知大会 男子優勝 矢作南小
7.7.7	第14回愛知中学校総合体育大会（18） 岡崎中学校生徒団体総合体育大会 優勝 新香山中3・城崎弘幸 少年女子カヤック賞 優勝 新香山中3
7.7.14	岡崎中学校生徒団体総合体育大会（18） 岡崎小学校生徒大会（18） 優勝 其美其美・持津愛貴賞 船山中 全日本武道（弓道）練成大会 優勝 新香山中3・加藤 善合 全日本武道（柔道）練成大会（18） C1-2男子 二位 新香山中3・宇野、中根 C1-2女子 三位 新香山中3・加藤、善合 全国中学校アーチェリー大会 リカーブ男子18M・18M部門 二位 東海中2・小久保拓也 リカーブ男子25M・18M部門 二位 東海中2・鈴木俊太 第20回全国東海プロテック小学生バレーボール大会 男子優勝 矢作南小 第20回岡崎小学校木球大会（井田中） 二位小 第10回愛知中学校総合体育大会（18） 二位 二位 弓道の部 個人 優勝 東海中3・太田航大
7.7.29	
7.7.30	

7.7.31	水泳の部 男子個人 優勝 美中3・小野志平 男子総合 優勝 矢作北中（五年連続） 男子四〇Mマドレー 優勝 矢作北中（五年連続） 男子四〇Mマドレー 優勝 矢作北中・大久保、石川、渡辺、石井 男子四〇Mマドレー 優勝 矢作北中・大久保、石川、渡辺、石井 男子四〇Mマドレー 優勝 美中2・小林亮治 岡崎教育・福祉系同好会（18） 特別活動8・22・24 JCGAボロボルフランジュニアアトラクティブ 12・14歳男子の部 優勝 美月中2・小林亮治 呼吸器科市医師会連合会（16） よここいINおかせ
8.8.1	第29回東海中学校総合体育大会（18） バレーボールの部 男子 二位 東海中 相撲の部 個人 一位 東海中3・太田航大
8.8.2	男子八〇M 水上の部 男子四〇Mマドレー 一位 美中3・渡辺伸平 男子四〇Mマドレー 二位 矢作北中・大久保、石川、渡辺、石井 男子四〇Mマドレー 三位 東海中・高野、加藤、藤川、鈴木
8.8.9	男子四〇Mマドレー 三位 矢作北中・大久保、石川、渡辺、石井
8.8.9	五〇M自由形 二位 矢作北中3・大久保実宏 第27回愛知高等学校生物保護実証発表大会 愛知知事賞 美中3・岡崎小
8.8.9	第29回愛知高等学校総合体育大会・第20回東海プロテック中学校バレーボール選手権大会 二位 東海中
8.8.12	第一回全日本洋種三味線協会 名古屋市大会 中・高校生部の部 優勝 甲山中1・加藤祐典
8.8.16	岡崎中学生ラケット大会 五位 船山中 第5回全日本中学校バレーボール市県選抜大会（18） 第27回愛知高等学校総合体育大会 優勝 甲山中1・加藤祐典
8.8.17	第4回全国中学生相撲大会 五位 船山中
8.8.21	第20回全日本中学校バレーボール選手権大会 優秀選手賞 東海中3・鈴木潤平
8.8.21	第27回全国中学生の主張コンクール（福祉社会） タララランプリ賞 優勝 美中2・市川志穂
8.8.24	岡崎中学校学生英語スピーチコンテスト（福祉社会） 岡崎出版社アラップコンクール表彰式（福祉社会） JOCシニアオリンピックカップ第20回全日本小学生相撲選手権大会 東海プロテック大会 三位 磐石小4・加古卓忠
8.8.28	岡崎市教育委員会文化のついで（市民会館） 第10回愛知小学校バンドフェスティバル 金賞・教育委員会賞 美中3 岡崎中学校生時制作発表市県選抜大会（18） 岡崎中学校生時制作発表市県選抜大会（18） 第28回（10）ニアキリニ上級上級大会愛知大会 女子自衛隊大校 優勝 船山中2・太田航大 愛知中学校園緑化コンクール 学校園緑化の部 特賞 愛知知事賞 磐石小 第31回毎日全国小学生読書発表大会 毎日新聞賞 六ア五年組小6・村崎彩香
9.9.23	第44回吹奏楽（若菜会館） 英語DVI全小学校展覧会開始 第10回岡崎中学校入部体育大会 （18）7・水泳9・1 山口岡崎中学校生徒団体 文芸科学大賞 団体の部 岡崎中学校生ニューポトビータ市親善訪問（18） 第20回中部日本吹奏楽コンクール本大会 金賞 東海中 奨励賞 岩津中 高岡百信学校全国日本中学校吹奏楽大会・愛知大会 優勝賞 東海中3・森川潤子 第14回愛知高等学校女子バスケットボール大会 男子総合・女子総合 男女総合優勝 新香山中



「よここいINおかせ」で踊る子供たち（磐石小）

「WE LOVEトンボ絵画コンクール」文部科学大臣賞・環境大臣賞(井田小・広幡小・美合小)



英語DVDの全小学校配布等英語に親しむ子供たち(大物等小)



交流二十周年を迎えた平和浩特市親善訪問



11・11・20	11・17	11・17	11・16	11・16	11・11	11・10	11・10	11・3	11・3	11・2	11・2	10・31	10・28	10・28	10・27	10・23	10・14	10・11	10・8	
第55回愛知児童文化祭(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)
金賞 矢作東小2・今橋南小1・三島小3・三島小4・三島小5・三島小6・松井南小3・三島小4・松井南小5・三島小6・三島小7・三島小8・三島小9・三島小10・三島小11・三島小12・三島小13・三島小14・三島小15・三島小16・三島小17・三島小18・三島小19・三島小20・三島小21・三島小22・三島小23・三島小24・三島小25・三島小26・三島小27・三島小28・三島小29・三島小30・三島小31・三島小32・三島小33・三島小34・三島小35・三島小36・三島小37・三島小38・三島小39・三島小40・三島小41・三島小42・三島小43・三島小44・三島小45・三島小46・三島小47・三島小48・三島小49・三島小50・三島小51・三島小52・三島小53・三島小54・三島小55・三島小56・三島小57・三島小58・三島小59・三島小60・三島小61・三島小62・三島小63・三島小64・三島小65・三島小66・三島小67・三島小68・三島小69・三島小70・三島小71・三島小72・三島小73・三島小74・三島小75・三島小76・三島小77・三島小78・三島小79・三島小80・三島小81・三島小82・三島小83・三島小84・三島小85・三島小86・三島小87・三島小88・三島小89・三島小90・三島小91・三島小92・三島小93・三島小94・三島小95・三島小96・三島小97・三島小98・三島小99・三島小100	第55回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)	第54回同小中学校理科作品展(中央総合公園武道館)

11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	11・21	
第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	第55回全国読書コンクール	
特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈	特選 電美丘小5・小山内優奈

平成19年度研究発表校

月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料
6月22日	東海中(市)	教育全般	豊かな心を育む～笑顔でチャレンジ～ 自己存在感のある生徒活動 意欲化を図る授業構築 家庭・地域との協働を柱にして～	“笑顔でチャレンジ”を全校のスローガンとし、豊かな心の醸成を目指して学校改革を進めてきた。心を充たす「スマイル!」では生徒活動の充実を、心を耕す「チャレンジ!」では学ぶ意欲の高揚を、心を広げる「ハートフル!」では家庭・地域・学校の協働を目指し、地域との絆を深めつつ生徒たちの顔の輝きを求めた実践を進めてきた。	研究物 研究紀要 学習指導案集 助言者 神戸大学大学院教授 石川 哲也 先生 愛知教育大学教授 土屋 武志 先生 岡崎市立南中学校長 若月 慎白 先生 岡崎市立城南小学校長 岡田 要 先生
9月26日	矢作東小(自主)	教育全般	国語力向上をめざす授業 ～音声言語表現力の定着を図り、矢東の読解力を培う～	本校が継続的に取り組んできた音声言語表現力を基盤とし、「矢東の読解力」を培うことによって、国語力を向上させたいと考え、実践を重ねてきた。「根拠を明確にし、意見を発表する場の設定」や「友達の見聞き、自分の意見を再構築するための聞き取りメモや学習シートの活用」などを具体的な手立てとし、授業実践に取り組んだ。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師 奈良教育大学教授 松川 利広 先生
10月17日	藤川小(思健研)	国・社・算・理・生活	自ら問いを追究する子の育成 ～パソコンなどのメディアやLANの活用を通して～	平成18・19年度愛知県小学校視覚教育研究会および愛知県視覚教育研究協議会の委嘱を受け、メディアや校内LANを効果的に利用することで、多様な学習活動を創出し、意欲的・継続的な学習に取り組む児童の育成に取り組んだ。どのメディアをどの場面で利用すると、児童の学習効果が上がり、教科のねらいを達成できるか研究し、実践した。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師 名古屋大学大学院教授 大谷 尚 先生
10月24日	六ッ美西部小(市)	教育全般	自ら学び、共に高め合う子の育成 ～地域とむつまじく育てる～	教材・人・地域と「かかわる」場、課題を「追究する」場、分かったことや自分の思い、考えを「伝える」場を設定し、一連のプロセスを連続的・発展的に進め“学ぶ力”の育成を目指した。そして、「地域とむつまじく育てる」場を設定し「温かな学級、生活と学習の習慣づくり」「学ぶ力」の育成を目指す授業づくりの3つの柱で、具体的な手立てを講じて実践を進めた。	研究物 研究紀要 学習指導案集 研究資料集 講師 愛知教育大学准教授 久野 弘幸 先生 助言者 岡崎市立夏山小学校前校長 三浦 浩子 先生 岡崎市立千町小学校教頭 萩野 嘉美 先生 岡崎市立愛宕小学校教頭 増澤 徹 先生
10月31日	梅岡小(市)	国語・算数	自ら考え、進んで学びとる子の育成	平成17年度から3年間、岡崎市教育委員会から研究委嘱を受け、「学力向上支援の在り方」についての研究を推進してきた。そして、「学習課題設定の工夫」「個を生かす指導・支援」「かかわり合いの重視」「指導と評価の一体化」「基礎・基本の充実」を具体的な手立てとして、「情報リテラシー能力」「課題解決能力」などの育成に取り組んだ。	研究物 研究紀要 学習指導案集 国語・算数資料(CD) 講師 愛知教育大学教授 佐藤 洋一 先生 愛知教育大学教授 志水 廣 先生
11月14日	形整小(県へき地研)	教育全般	ふるさとにかかわり、生き生きと思いを伝え合う子どもの育成 ～地域教材を取り入れた学習過程の工夫と伝え合うわざの活用～	愛知県へき地教育研究協議会より平成18・19年度と研究委嘱を受け、子どもの追究意欲が高まる地域教材を取り入れ、子どもが思いを深めたり膨らめたりすることができる学習過程を工夫した。また、「伝え合うわざ」を作成し、これを鑑え、活かし、広げる場を設定し、スピーチ活動や伝え合う場、ふり返り活動を通して生き生きと思いを伝え合う子どもの育成に努めた。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師 愛知教育大学准教授 久野 弘幸 先生 岡崎市立蓮尺小学校校長 福澤 謙一 先生 岡崎市立北野小学校校長 鴨下 宣彦 先生 岡崎市立上地小学校教諭 中村 公治 先生 岡崎市立額田中学校教諭 小野 隆義 先生
11月20日	東海中(自主)	教育全般	生徒の学ぶ力を鍛える授業の創造 ～51分を演出する～	生徒の学ぶ力を、「学び取る力」「学び込む力」「学び抜く力」の三つの力ととらえ、毎日の授業の中でこれら三つの力を意識した学習活動を仕組み、実践を試みた。また、それぞれの学習活動に合わせて適切な手立てを講じることで、生徒の学ぶ力を向上させることができると考えた。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師(助言者) 六西小 大西 裕子先生 矢北中 長瀬 良昭先生 東海中 萩野 敦司先生 矢東小 宇部宮森和先生 南 中 長坂麻奈美先生 龍崎小 鈴木 孝司先生 六ッ美中 野田 豊先生 岩津中 山田 義仁先生 美川中 石川 敏幸先生 広輪小 岡田 幸夫先生

書名	出版日	著者
こだわって自然三	平成20年1月	三浦重光(岡崎市立緑丘小学校)
創立30周年記念誌「城南」	平成20年2月	城南学区・城南小学校創立30周年記念事業実行委員会
六ッ美西部小学校・学区10周年記念誌	平成20年2月	六ッ美西部小学校・学区10周年記念事業実行委員会
開校100周年記念誌	平成19年3月	常盤南小学校開校100周年事業実行委員会
郷土読本 はそかわ	平成19年3月	岡崎市立額田小学校
開校60周年記念誌	平成19年6月	岩津中学校同窓会
岡崎ゲンジボタル～その生息と環境と保護活動	平成19年12月	河合中学校・岡崎ゲンジボタル保存会

●平成19年度の出版物

平成 19 年度教育研究論文入賞者

●個人研究の部

最優秀賞

氏名	学校名	教務領域	研究主題
阿部 裕子	大 門	国語	自分の思いを、自信を持って表現できる子の育成
丹羽 郁人	甲 山	国語	身近な人々を見つめる直す力を育てる表現活動

優秀賞

藤原 京子	梅 園	国語	自ら考え、かわり合って学ぶ子の育成をめざして
藤原 京子	梅 園	国語	自分の伝えたいことを分かりやすく表現できる子どもの育成を目指して
尾崎美貴子	男 川	教育全般	心身の健康を支える食生活を送ることのできる子に
倉地 耕治	美 合	社会	郷土の歴史を学び、生き方を見つめる直す社会科の授業
加納 千穂	美 合	国書部	PISA型読解力を高める国語科の読解型単元の授業
本郷 一哉	六 名	道徳	命の大切さを感じ、明るく前向きに活動する子の育成
藤野 秀幸	三 島	総合	豊かに感じ、自ら考えを深める子供の育成
五藤志乃代	鹿島丘	国語	確かで豊かな読解力を育成し、読書力を高める国語科授業
清水 隆史	鹿島丘	保健体育	向上心を持って挑戦し続ける体育学習
杉田 浩史	藤 川	社会	学ぶ喜びを分かち合い、共生社会をめざした生き方を問う社会科の授業
宮田 好己	山 中	国語	学ぶ喜びを味わい、考えを伸ばす算数の授業
大塚 健一	常盤南	理科	科学好きな子を育てる理科学習
島田 光世	鹿 田	国語	読書・基本身に身につくように書くことを通して、自分の思い豊かに表現する子をめざして
山本 潤子	藤 川	保健体育	自己の力を伸ばす楽しさ・喜びを味わう体育の学習
松金 正樹	大樹寺	国語	できる喜びを味わい、意欲的に学ぶ児童を目指して
鈴木 幸友	大樹寺	理科	粘り強く探究し、科学的な思考力を深めることのできる子の育成
成瀬 雄一	大 門	国語	読書を通して学び、困難への楽しみを感じることが出来る児童の育成
神谷 敦仁	大 門	理科	自分の考えを伝え、学びあう仲間を育てる理科授業
高橋 遼	矢作東	国語	コミュニケーション能力を育てる国語科授業
前田 康幸	矢作東	社会	社会的読解力を養うための読み
尾崎めぐみ	矢作西	生活	追究する子を育てる生活科の授業
林 高子	矢作西	総合	様々な学びができる総合的な学習
田中 克典	矢作南	社会	歴史を身近に感じ、時代の特徴を多面的にイメージできる子供の育成
坂口 友梨	上 地	国語	学習したことを家庭生活に生かし、よりよい食生活を送ろうとする子の育成
武田 尚香	小豆坂	国語	豊かに豊かに読む力を育てる国語科の授業
池田 芳浩	小豆坂	理科	主体的な観察から知物をとらえ、自然に対する思いや考えを深める子供の育成
森下 成樹	小豆坂	保健体育	健康の基礎、基本を育む保健活動
本多 宣子	夏 山	国語	生活に生かせる「読み書き」の力をつける子どもの育成
平本 麻子	新 井	生活	ふるさとに誇り、自分のまわりの人やもの、自然への思いを大切に育てる子の育成
鈴木 絵美	新 井	総合	相手の立場に立ち、思いやりを持って生き物を飼育できる子の育成
山本 美智	南 郷	理科	調べを生かした科学的な学びや生活の創造
見玉 洋行	南 郷	理科	元気が出る理科授業
上原 晶子	城 北	英語	伝える楽しさを味わう英語学習
坂本 藤士	城 北	生活科	不登校生徒に対する教師の関わり方に関する事例的考察
伊藤 真平	河 合	総合	安全意識の向上と地域を愛する心を育む生徒の育成
飯見 裕代	福 岡	道徳	かけがえのない自然の生命を尊重する心を育む道徳教育
伊藤 史史	東 海	社会	学ぶ喜びを分かち合い、共生社会をめざした生き方を問う社会科の授業
志藤 雅也	東 海	音楽	リズム音楽を通して豊かな心を育むことのできる生徒の育成
廣瀬 浩司	城 北	総合	伝統に誇りを持って自主的に活動できる生徒の育成
倉嶋 正博	宮 野	国語	論理的な文章の構成を読み取り、論理的な文章が書ける生徒の育成
池本美千代	若 津	国語	健全な生活を送る生徒の育成
増野 隆	矢 作	教育全般	学習意欲の向上を見つめ直し、健康な生活のために改善しようとする生徒の育成
清水 幸治	矢作北	理科	学ぶ喜びを実感できる理科の授業を目指して
岡村 直子	矢作北	音楽	豊かに表現できる生徒の育成を目指して
加賀 智史	矢作北	国語	学び合いから創意工夫を広げようとする生徒の育成
小田 哲也	竜 南	学習指導	学校と地域と家庭を結ぶネットワークの利用

●共同研究の部

最優秀賞

国語授業研究部 教野 守	本 宿	国語	自己を正しく見つめ、生き生きと歩む子どもの育成
総合的な学習部 3年生部会 森田 淳一	竜 南	総合	自ら追究し、考えを深めることのできる総合的な学習の時間を展開し

優秀賞

4年生部会 長々八津子	梅 園	国語	T-T学習において、自ら考え、進んで学びとる子の育成
現職教育部 代長 長木久夫	美 合	教育全般	自ら学び、考え、表現する美合っ子の育成
保健体育部 鈴木 孝広	竜 南	保健体育	生徒自ら主体的に学ぶ保健体育科の授業展開
1年数学部 北村 文博	藤 川	国語	既習内容を活用し自分で考え、数学を楽しんで学んで自己を高めていく生徒の育成

〈論文入賞者数〉

賞	最優秀	優秀	佳作	合計/応募数
小学校	個人 1	30	50	80/238
	共同 1	2	5	8/14
中学校	個人 1	16	31	48/124
	共同 1	2	5	8/14
合 計	4	50	100	154/286

佳作

太田 彩乃	梅 園	国語	大鶴喜代美	たけがき	道 徳
村松香保里	梅 園	国語	平岡 亮子	城 南	生 活
大野 良樹	梅 園	国語	田中 紀子	城 南	道徳
湯本 純代	梅 園	国語	尾崎 智佳	城 南	保健体育
夏目 弘之	美 合	国語	原 洋一	城 南	特別活動
三浦有紀子	美 合	教育全般	加藤あゆ美	上 地	国語
佐藤 百代	緑 丘	国語	小山 浩志	上 地	国語
横山 智一	緑 丘	社会	柴田新由美	上 地	理科
加藤春香江	羽 根	保健体育	成瀬 正和	六 名	国語
河合 幸宏	羽 根	保健体育	西藤あけみ	豊 富	特別活動
藤平 輝	六 名	社会	鈴木紀子	豊 富	総合
中根 精司	六 名	理科	加藤 寛之	新 井	総合
土寿 孝夫	三 島	生活	近藤美千代	新 井	総合
西澤由貴子	三 島	生活	大森 伸也	下 山	国語
久富理子	三 島	総合	加藤 良彦	甲 山	国語
清水 隆史	鹿島丘	国語	坂本 祥太	甲 山	国語
山田 美穂	鹿島丘	保健体育	白田 麻理	美 田	保健体育
河合 政徳	広 幡	国語	博多 幸子	美 田	国語
橋本 山美	広 幡	生活	川本 祐二	美 田	保健体育
野々山すなお	広 幡	保健体育	日置 正敏	南 郷	社会
平沼 大智	赤 田	社会	中野 浩	竜 南	国語
浜島 祐子	赤 田	国語	崎野 和方	城 北	国語
住田麻由美	赤 田	学校保健	大山 雅之	城 北	国語
山本 典弘	福 岡	総合	近藤 尚志	城 北	英語
杉浦 有子	藤 川	音楽	鈴木 彰子	福 岡	特別活動
松坂 裕文	本 宿	理科	坂田 裕史	河 合	国語
石川 江船	生 平	学校保健	佐野 裕生	宮 野	国語
夏 陽子	宮野南	生活	藤波 晴子	宮 野	国語
高橋 綾乃	宮野南	学校保健	早川 智也	若 津	社会
横谷 京子	若 津	国語	天野 孝志	矢 作	国語
坂元 薫	大樹寺	国語	内田 正信	矢 作	音楽
加藤 有信	大樹寺	社会	原田美和子	六 名	国語
酒井 智之	大樹寺	社会	阿部 裕人	矢作北	理科
鈴木 大介	大樹寺	国語	小沼 大	新香山	国語
浅井 有花	大樹寺	保健体育	大久保孝治	新香山	保健体育
伊藤 恵里	大樹寺	国書部	山崎 誠治	竜 南	国語
加藤 幸江	大 門	国語	松本 俊司	北 郷	社会
深津 直美	大 門	保健体育	武井 翔	北 郷	英語
明神 優子	矢作東	国語	轟 康雄	北 郷	保健体育
佐渡 明美	矢作東	国語	高橋 孝夫	六 名	国語
浅井美己子	矢作東	国語	桑田 聡子	六 名	音楽
石田 勝重	矢作西	国語	林 俊樹	六 名	総合
丹下加花子	矢作西	音楽	川端 尚子	六 名	総合
菅 美津枝	たけがき	国語	鈴木 貴幸	新 田	理科
新名 結子	たけがき	生活			

お知らせ



●教員海外研修報告

平成十九年度岡崎市教員海外研修として、十月二日より十一日までの十日間、三名でスイスを訪問した。教育委員会、初等学校、中等学校、大学等、七か所を視察した。

①教育制度と学校運営

連邦国家であるスイスは教育制度も連邦ごとに違う。現在、それを統一しているという動きがある。また、それぞれの学校は独立経営で、校長は経営者として予算や教員数を教育委員会に申請している。そして、家庭、学校、行政の役割を明確にし、連携して教育に当たっている。

②初等教育

低学年の学習は単元の時間を細かく設定せず、二年間で

教育目標に到達するよう、実態に応じた学習の進め方を工夫している。また、平均点や他の子との比較で相対的に成長をとらえるのではなく、その子なりの伸びを見ながら支援している。

所定の水準に達していない一、二年生に対して留年制を実施している。これは心理分析官による保護者への指導によって成り立っている。社会生活に参加できるようにすることを第一に考え、その子供にとって最も適した学習方法を見出すために、子供・保護者・学校でよく話し合っている。

③中等教育

学習の最終目的を就職とし、就職までの過程を明確にして、個に応じた学びを充実させている。進路指導については初

等教育から就職まで一貫性をもった教育システムができていいる。中等教育の前段階で、子供と保護者と教師で相談し、進路の方向性を決め、学習に対する目的意識を持たせている。また、連邦、州、職業団体の協力により、職業訓練制度も充実している。

さらに、義務教育ではあるが能力別に学級編成し、個に応じた学習内容を設定している。

研修者 片桐 徹(北野小)
小川有理(六ツ美中)
近藤克幸(額田中)



●派遣研修員研究報告

○教員県外研修

本年度、派遣研修員として以下の三名が県外研修を実施した。

①美合小学校 倉地耕治教諭
研修地……広島県

三原市立木原小学校
三原市立北方小学校

広島市立基町小学校
広島大学附属小学校

②本宿小学校 小田幸子教諭
研修地……東京都
国際子ども図書館
第四十四回夏季アカデミー

・ PISA型の読解力向上のための手だてや授業構想についての研修

・ 社会科教育先進校視察

・ 平和教育や国際理解教育の先進的な取り組みについての研修

・ 二十一世紀型学力についての研究を視察、これからの学力観や教育課程についての研修

・ 幼・小・中連携教育の研究校を視察、その有効性についての研修

・ 児童書に関する情報収集及び活用方法に関する研修

・ 論理的思考力を高める説明的な文章教材の指導についての研修

・ 体力作りに積極的に取り組んでいる地域及び学校を視察、指導法についての研修

「ことばの力、生きる

力を育てる国語の授業の創造」

第二回全国国語教育研究大会

③葵中学校 細井太郎教諭
研修地……東京都
杉並区立杉森中学校
東京学芸大学附属竹早中学校
お茶の水女子大学附属小学校
筑波大学附属小学校
府中市教育委員会

・ 児童書に関する情報収集及び活用方法に関する研修

・ 論理的思考力を高める説明的な文章教材の指導についての研修

・ 体力作りに積極的に取り組んでいる地域及び学校を視察、指導法についての研修

・ 幼・小・中連携教育の研究校を視察、その有効性についての研修

・ 児童書に関する情報収集及び活用方法に関する研修

・ 論理的思考力を高める説明的な文章教材の指導についての研修

・ 体力作りに積極的に取り組んでいる地域及び学校を視察、指導法についての研修

・ 幼・小・中連携教育の研究校を視察、その有効性についての研修

・ 児童書に関する情報収集及び活用方法に関する研修

・ 論理的思考力を高める説明的な文章教材の指導についての研修

・ 体力作りに積極的に取り組んでいる地域及び学校を視察、指導法についての研修

・ 幼・小・中連携教育の研究校を視察、その有効性についての研修

●表彰

- ◆小学生新聞コンクール「私とみんてつ」学校賞部門
審査員特別賞・全国小学校社会科研究協議会副会長賞 城南小
- ◆第四十一回全国中学校文芸作品・歌曲制作コンクール
文芸の部「作文」部門
第一位
東海中三年 高木 竜一
- ◆第九回シヨパン国際ピアノコンクール IN ASIA
奨励賞
六美西部小二年 横尾 萌
- ◆自己表現力全国コンクール
作文分野・中学生の部
第五位
東海中三年 大河原 智
- ◆第六回こども科学映像祭
奨励賞 岡崎小
- ◆第四十四回全国児童才能開発コンテスト 作文部門
全国都道府県教育長協議会会長賞
竜美丘小五年 安藤 綾香
才能開発教育研究財団理事長賞
竜美丘小五年 稲葉 理央
日本PTA全国協議会会長賞
連尺小六年 上 智樹
財団奨励賞
竜美丘小
大本京佳四年 溝口琉愛三年
- 連尺小
深津健視二年 久保康太郎二年
鈴木空良二年 上 陽子三年
竹内 舜四年 有我拓磨四年
桐戸佑香四年 築山まみ六年
- ◆NHK全国短歌大会
百人一首賞
河合中一年 安藤 竜太
- ◆NHK全国俳句大会
入選
河合中二年 蒲野 雅仁
- ◆第十一回東海ジュニア選抜ソフトテニス大会
個人戦ベスト八
河合中二年 杉田 篤志
河合中二年 島田 賢紀
- ◆第二回東海地区中学生河選選手権大会 団体の部 男子
第三位 額田中
山下・高橋・石谷・森野
- ◆県新人バスケットボール大会
男子 優勝 北中
- ◆愛知県アンサンブルコンテスト
小学校の部
クラリネット
愛知県教育委員会賞
竜美丘小
- 中学校の部
金管八重奏
竜海中
岩津中
- クラリネット八重奏
竜海中
金賞
サキソフオーン四重奏
六ツ美中
竜海中
- ◆全三河卓球大会
第二位 額田中
- ◆愛知県読書感想文コンクール
優秀賞 ※は全国審査へ
六美西部小六年 勝木聖良
常磐中三年 鎌田実咲
優良賞
美合小一年 山本 侑
大門小二年 稲葉涼太
竜美丘小三年 竹内美真
六美西部小四年 河合菜摘
岡崎小五年 小池由希子
羽根小六年 鳥山綾子
甲山中一年 武笠結天
常磐中二年 近藤郁美



▲六ツ美西部小6年 勝木 聖良

●ハートピア岡崎だより

新しい道へ

— 中学三年生お別れ会食 —
二月も半ばに近づくと、指導員の中で、通所している中学校三年生の子の進路や卒業式の出席に関する話題が多くなっていく。学校にお任せすれば、という意見もあるが、一緒に生活していると、つい気になって口に出してしまう。指導員と子供との会話の中にも出てくる。自分の考えを表現していくために、指導員と共に学校へ行き、夕刻の教室で担任の先生と、話し合っている子もいる。

専門学校を受験した子が「先生から封筒をもらったときは、心臓が破裂しそうだった。家に帰って開けてみたら合格と書いてあって嬉しかった。今度は電車通学をするから、一人で電車に乗れるよう練習をします」と笑顔で言ってくれた。

しかし、ハートピア岡崎での生活には限りがあり、学校で得られるものと比べてみると、その差はあまりにも大きい。幅を広げた指導が必要になってきていると感じる。そこで、ハートピア岡崎での三年生の生活を二月十五日までとし、できる限り学校へ足を向けさせるようにした。

十三日には、三年生お別れ会を計画した。ゲームや読み会を計画した後、男子は焼きそば、女子はおにぎり、みんなでクッキーを焼き、手作りの会食をした。いつも元気のいい三年生も、緊張気味で参加していた。最初は堅かった顔つきにも柔らかな表情が出てきているのが分かる。

これからは、それぞれの道をおおいに楽しんでほしいと指導員一同願っている。



校舎建設 (昭和62年)

写真提供：北中学校

昭和六十三年四月、岡崎市内十七番目の中学校として北中学校が開校した。岩津中学校で生徒数が千人を超えるようになり、大門小学区と大樹寺小学区の一部を統合し、九百二十四名でのスタートとなった。写真は、緑化センター跡地に校舎建設が進む様子である。岡崎市は、区画整理の段階で、すでにここを学校用地とし、開校まで、樹木展示や緑化の相談のできるセンターとしていた。当時の樹木の一部は、今も生徒の心を潤している。

昭和五十六年の矢作北中学校から、平成四年の六ツ美北中学校まで、次々に中学校が新設された時代であった。



岡崎の教育



- *生物と無生物のあいだ 福岡伸一 ¥740
講談社
- *あした笑顔になあれ 水谷 修 ¥1,400
日本評論社
- *貧困の光景 曾野綾子 ¥1,300
新潮社
- *VIVA! カナリア 船越 博 ¥1,700
創土社

*走り来たれよ、吾娘よ 岩元魁子+昭雄
かもがわ出版 ¥1,800

教育は、すべての子供の夢や希望をかなえ、可能性を高める活動であり、教師や保護者の協働作業と言える。本書は、ダウン症のハンディがありながら4年制大学に進んだ娘の成長の記録である。同時に娘の可能性を無限に信じて共に生きてきた家族の軌跡であり、周りの人々が織りなす人間の優しさの記録でもあった。

子供一人一人の能力や実態に合わせた指導・助言をする特別支援教育は、教育の原点である。

葵 中 普 沼 国 雄

教え子の活躍や新しい体育館での悪戦苦闘の一年に思いを馳せてみる。

紙面に載せきれなかった数多くの栄光と、その際にある何情もの努力と汗の跡が浮かぶ。結果に結びつかなくとも、果敢に挑んだ何十倍もの真剣勝負の跡も、色あせることなく記憶に刻まれた。

春眠は春の季語。人々が時間に追われるようになって、朝寝や春眠の偵打ちが急に高まっている。春眠を羨しみたい。

わが家の犬は、毎朝早い時間に吠えて散歩を要求する。朝寝の楽しみを許してくれない犬が憎くもある。

さて、元気な犬と春の探索に出よう。

シ オ ス ア

笑顔で撮った写真は、かけがえない宝となった。

「ありがとうございました。」
卒業式の日には固い握手をした生徒がいる。友達とうまくいかず悩んでいたこと、家庭で居場所が無くて悩んだこと、時間をかけて何度も話をすることが思い出される。

笑顔で撮った写真は、かけがえない宝となった。

スリーケースを片手に、海外へ卒業旅行に出かける大学生の楽しそうな姿がテレビに映る。ほんの少しうらやましく思いながら、年度の終わりに向けてもうひと踏ん張りする。

最後の日に、「君たちと一年間、一緒に遊べて良かったよ」と笑顔で言えるように。

